

要 点 録

会議の名称	第1回田村駅周辺整備推進会議
開催日時	令和元年9月30日(月)午後1時35分～午後3時45分
出席者	仁連 孝昭 滋賀県立大学 名誉教授 井 経子 社会福祉法人石龍会 チャイルドハウス 園長 廣内 年光 田村自治会 自治会長 川崎 他家廣 長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役 辻村 忠嗣 田村町まちづくり委員会 委員長 狩野 翔平 一般社団法人長浜青年会議所 新湖北創造委員会 委員長 松本 秀章 滋賀文教短期大学 副学長 柴田 善成 六荘地域づくり協議会 会長 小川 暢保 長浜サイエンスパーク 推薦 野本 浩司 高橋町まちづくり委員会 委員長 饗庭 啓良 滋賀県長浜土木事務所 所長
欠席者	畑下 嘉之 社会福祉法人青祥会 理事長 若林 浩文 長浜バイオ大学 理事長
	(敬称略)
事務局(長浜市)	長浜市都市建設部:下司部長、井上技監、嶋田次長 長浜市都市建設部都市計画課:内藤課長 田村駅周辺整備室:塚田室長、三浦主幹、和田主査
会議概要	1 あいさつ 都市建設部 下司部長 2 参加者紹介 アドバイザーとして仁連氏に就任をお願いした旨を報告 各参加者からの自己紹介 3 会議の公開について 長浜市情報公開条例を準用し、会議を公開とすることについて決定 4 報告 ・田村駅周辺整備基本計画の進捗状況について ー 資料に基づいて説明 ー 5 意見交換 ・J C (長浜青年会議所) の主張 ～テクノロジーと共生するまち「Society5.0 社会」の実現～ 6 主な質疑、意見等 (○:アドバイザー、・参加者、→事務局) 〈田村駅周辺整備の進捗状況について〉 ・有人駅は難しいと思うが、今後、人口が増加し、利用者が増えてきた時には、駅機能

が拡張されたり、有人駅になったり、駅が発展することは考えられるか。

→田村駅の乗降客数は将来約4,000人になると見込んだ計画としている。JRに検討してもらえよう交渉を進めていきたい。

長浜バイオ大学ドームで高校の体育祭等で駅利用が大人数となる場合には、JR職員が安全確保を行っている。日常的に乗客数が増えれば、JRとしても必要性を感じていると思われる。引き続き協議を行う。

- ・坂田駅周辺では500世帯以上あると思われる。(人口増のまちづくりをするのに、)200世帯では足りない。非常に難しいと思うが、農業振興地域へ伸ばすイメージ。市民に認識してもらうダムとしては田村駅から国道8号線までつながるダムとなれば市民も認識できる。

長浜市の人口について調べると、ここ3年で2,500人減っている。もう少し焦らないと。人が住んでもらえることが究極の目標だと思うが、実現させる具体的な対策を。強引な私案だが、固定資産税を無料にすることや、企業誘致には税金を安くするなど。このダムの地区には、こんな特典がある。ということを考えない。

無電柱化した綺麗なまちなみをつくるか、住みやすいまちをつくることもおもしろいと思うが。

→人口減少については総合政策部を中心に人口ビジョンを今年度策定中。これからの充実、発展については全庁をもって考えている。いただいた意見を長浜市全体で人口のダム化を検討していきたい。まずは田村駅周辺地域がモデルとなるよう基本計画に基づき進めていきたい。

- ・以前の会議録等を確認したが、もうひとつ盛り上がりに欠けている。市長の反応や議会がどう考えているか、住民には見えてこない。長浜市12万人がどれだけ注目されているか。現状では注目されていないと思われる。市の喫緊の課題として、人口減少の問題の対策を知らしめる努力をしてもらいたい

→色々な機会を通じて市民の方に伝えるように考えていきたい。

- ・この説明を受けただけでは、田村駅周辺整備事業でなく、田村駅の改修工事イメージしかない。駅周辺がどうなるのか。10年20年後にこういう計画があるというのを見せてほしい。駅の形はその後でも良いと思う。

→駅部分についてはJRとの協議があるため、現状の協議内容と整備案をご報告させていただいている。

- ・田村駅に関して、行政は行政、地域は地域として田村駅含む周辺をどうしていくか、六荘、神田、西黒田を含めた連合自治会の役員の皆さまと協議を重ねるなかで、行政にもお力添えをお願いし、夢のあるお話ができればと思う。しっかりとスクラムを組んでやっていければと思っている。

→田村駅周辺整備については、まず駅を中心とした600m圏内を基本計画に基づいてやっていきたい。

・グランドデザイン、理念の中に南長浜地域のファクターをいれておくべき、田村駅周辺をすることにより、周辺がどう変わるのかを、念頭に置きながら議論を進めた方が良いと提案。

・北に住宅地を考えた場合には2つ改札口があれば非常に使いやすい駅となる。駅だけでなく周辺の計画を具体的に聞きたいと思っている。

→市街化区域の拡大については、今後の展開を見ながら検討していくことと基本計画で位置付けしている。

・計画の事業進捗を教えてほしい。

→社会資本整備総合交付金の都市再生整備計画で今年度、国から補助採択を受けている。

この事業の中で基本計画に掲げている短期5年以内の事業について計画をたてて進めている。

・自由通路等の着工はいつごろから。供用開始は。

→R6の国民スポーツ大会が開会する時には、田村駅が新しくなって利用できるように進めていきたいとJR協議している。最短でR3着工、R3, R4年の2か年で工事。R5にオープンできることになる。遅くても、国民スポーツ大会開催のR6秋までにお願いしている。

・民間調査とは何を調査するのか。

→このエリアで、どういった業種の事業が成り立つのか、どうすれば進出可能かを調査する業務。居住地だけでなく、商業系・医療系・教育系が考えられる。各業態にお尋ねする必要があると考え調査を発注。

・市場があるなかで、一握りの面積での開発では難しい。

先ほどもお話したが、200軒では。人がこないと、業者もこない。家が先か、商売が先か。お互いの相乗効果。よほどのインセンティブがないと。

・えきまちテラスは、利活用に関して大変、難儀されており、市民から意見を募り200件くらい意見があったと聞いている。

田村駅周辺に家を建てるのは長浜市民が建てることとなる。近江町では相当数の長浜市民が家を建てている。家を建てるのは30代、40代の子育て世代。

「安心・安全・子育てしやすい」というような、どういう魅力をアピールするか、どんなインセンティブをつくるか。市は具体的にどう考えているのか。

行政も地元も真剣に考えているが、こういうビジョンがないと絵に描いた餅になる。

短中長期のなかで、5年後10年後、長浜市民に評価してもらえるまちづくりを。気迫と気概をもって進めてもらいたい。

8月10日のJCの発表を聞きに行った。次の長浜を背負っていく若い方が、田村周辺にどういう思いを持っておられるか。

〈J Cの主張 ～テクノロジーと共生するまち「Society5.0 社会」の実現～ について〉

- ・ 8月10日のパネルディスカッションの議事録をA3のグランドデザインに反映させる作業をしている。作業途中のため、この会議も含め、さらなる意見をいただきたい。
- ・ 民間が力を入れるところと、行政とタッグを組むことがないと、大変だと思う。議論を何回か重ねないと、具体的なきっかけがでてこない。担当部局との調整を。意見交換をしながらグランドデザインが半歩ずつでも、一歩ずつでも実現できるようにやっていただけるとありがたい。
- ・ J Cが提案されている内容について、米原・長浜を一つの都市として見る考え方は以前からある。情報提供を受けていれば、一緒に考えられたのでは。別々に考えてしまうと2度手間3度手間となる。情報共有や橋渡しを行政がしていただければ、より皆さんの意見が反映され効率的。田村駅周辺整備基本構想は共有しているのか。
- ・ 構想では「子育て世代」等の視点を踏まえた記載がある。
- ・ 田村駅周辺整備の課題として地域のつながりが少ない。と挙げられている。今回の資料では省いているが、この施設により解決できるのではないかと想定し資料作成している。
- ・ 共有できているなら問題はない。それぞれがバラバラにやっていたら良くない。
- ・ グランドデザインの具体的な中身が実現すれば嬉しいが、訴えたい内容は、それぞれが行うまちづくりでなく、両市の長所をいかした一体となったまちづくりの実現が目的。グランドデザインの中身はあくまでも手法。ご理解いただきたい。

○ J Cの考えとして琵琶湖を中心する優れた環境と米原駅の利便性をつなげれば発展の可能性はある。

今までは、人口のダム機能として、人が住める良いまちづくりの動きはあったが、どちらかというと産業振興としての視点は弱かった。J Cの提案は一つの手法として、アイデアを考えることはプラスになる。

長浜は滋賀県湖北の中心だけでなく、もう少し広い地域、岐阜・福井を含めた中心都市として発展すべきまちと考えている。新幹線、鉄道、高速道路が集結している。新たな拠点として田村駅を中心とした長浜の魅力がある。

田村地区は琵琶湖・田村山・伊吹山が見える非常に良いところだが、全然生かされていない。今、欠けているのは、この地域を発展させるステップがはっきりしていない。まずやることは田村の既存市街地を埋めることが一番。できないと次の発展はありえない。田村を埋めるために何をすべきなのか。先を見据えたビジョンを明確に。

- ・ グランドビジョンをもってやることは良いこと。

住宅地を整備するにしてもネックは地権者が分散している。全体のビジョンが見えていないため、なかなか進まない。行政のお力添えをお願いしたい。

- ・行政が何をしてくれるかではなく、自分らが何をすることが重要。そのためにビジョンが必要という議論をしないと。

過去には、リゾートネックレス構想もあったが、J Cの先輩方である21世紀市民会議では3つの目標を掲げられた。それは、ドーム誘致・直流化の実現・4年生の大学誘致。

これを進めるために、色々な形でイベントをスタートさせた。

田村駅整備など、具体的なきっかけを自分の問題として取り直さないと。行政が何をしているかでなく、自分たちが何をできるかを考え、ビジョンを共有して議論しなくては。

歴史を振り返った時に、ドームができた。長浜バイオ大学ができた。あれだけ変わっている地域はない。良いまちとしての誇りを持ってもらえる。文教地区として、よい住宅地となるはず。次のステップアップの仕掛けをどうしていくか。働く場所がないと誰も住まない。あらゆるアイデアを出しながら、行政と一緒にやろうというムードがないと。

無人駅ではさみしい。なんとかして有人駅にする方法をみんなで考えていきたい。

- ・湖北都市圏創造構想は今年度で閉じさせていただく。

来年からは新しい構想ができあがるだろうと思うが、具体的な内容はまだだが、来年度以降もよろしく願います。

7 その他

第2回推進会議は、年末から年明けにかけて予定している。

(詳細の日程については後日調整)